

中期目標検討委員会で示された「複数の選択肢」

ケース①「長期需給見通し」努力継続・米国EU目標並
05年比▲4% 90年比+4%

ケース②先進国全体で90年比▲25%
限界削減費用を各国で均等化（欧米の1.4～4.7倍）
05年比▲6～▲12% 90年比+1～▲5%

ケース③「長期需給見通し」最大導入改訂
フロー対策強化（欧米の2.1～5.3倍）
05年比▲14% 90年比▲7%

ケース④先進国全体で90年比▲25%
GDPあたり対策費用を各国で均等化
05年比▲13～23% 90年比▲8～17%

ケース⑤ストック・フロー対策強化・義務付け導入
新設については全面取替え。既存についても
一部強制的に取替え・義務化（欧米の4.6～8.2倍）
05年比▲21～▲22% 90年比▲15%

ケース⑥先進国全体で90年比▲25%（各国一律の削減率）
05年比▲30% 90年比▲25%

2005年温室効果ガス比増減

±0%

-5%

-10%

-15%

-20%

-25%

-30%

